

---

## キャプラン株式会社と「包括連携協定」を締結 環境教育プログラムを来年1月より提供開始 ～ 環境問題解決に貢献する次世代の人材育成を目指す ～

---

**独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家（兵庫県南あわじ市、所長：西岡 敬三）は、この度キャプラン株式会社（パソナグループ）と、青少年への環境人材育成における「包括連携協定」を締結し、地球環境保全と持続可能な社会の実現を目指す次世代向け環境教育プログラムの提供を令和5年1月より開始します。**

令和12年（2030年）までのSDGs達成に向け社会の意識が高まりつつある中で、令和2年度（2022年度）から本格実施となった新学習指導要領において「持続可能な社会の創り手の育成」が記されるなど、持続可能な開発のための教育（ESD）に向けた活動が教育現場でも加速しています。

そこで、この度国立淡路青少年交流の家とキャプラン株式会社は、青少年に向けた環境教育の機会を創出することで、環境問題解決に貢献する次世代リーダーの育成を目指す「包括連携協定」を締結しました。キャプラン社の有する幅広い講師ネットワークや、企業・自治体・大学等に対して実施している環境研修サービスのノウハウと、国立淡路青少年交流の家が有する企業・行政・学校とのネットワークやノウハウを活用し、環境教育プログラムを提供いたします。

本プログラムでは、隣接する自然海岸「吹上浜」<sup>ふきあげはま</sup>他、淡路島の豊かな自然環境のもと、多様な環境学習の機会を提供することとしています。淡路島の農業や 商業、工業事業者と連携しながら、自然や伝統産業等の地域資源を活かしたカリキュラムを通じて、環境問題の解決や持続可能な社会の実現に向けた意識醸成と、主体的な行動を促すきっかけづくりを行ってまいります。

国立淡路青少年交流の家とキャプラン社は、本協定の締結を皮切りに、今後は淡路島のみならず全国の国立青少年教育振興機構へ本プログラムを展開し、あらゆる世代へ自然環境について学ぶ機会を提供することで、持続可能な社会づくりに取り組む人材育成に寄与してまいります。

## ■ 包括連携協定 概要

---

締結日： 令和4年11月22日（火）

目的：（独）国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家とキャプラン社が連携し、持続可能な社会の実現に貢献すると共に、課題解決に向けて、自発的に行動できる人材の育成を図る

連携事項：(1) 環境教育の推進に関すること  
(2) SDGs の推進に関すること

## ■ 環境教育プログラム 概要

---

開始： 令和5年1月

対象： 主に中学生、高校生、大学生、若手社会人

場所： 国立淡路青少年交流の家（兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39）他淡路島内

内容： 淡路島の豊かな自然環境をフィールドとする多様な環境学習の機会を提供。淡路島の農業や商業、工業事業者と連携しながら、淡路島の自然や伝統産業等の地域資源を活かしたカリキュラムを通じて、環境問題の解決や持続可能な社会の実現に向けた意識醸成と、主体的な行動を促すきっかけづくりを行う。

（例）・産業から考えた環境教育 <淡路島の瓦から学ぶ>

断熱性、通気性に優れている瓦は何から作られているのか 等

・農業から考えた環境教育 <淡路島の玉ねぎから学ぶ>

玉ねぎの食と環境への影響、フードマイレージの問題 等

H P : <https://awaji.niye.go.jp/>

お問合せ： 国立淡路青少年交流の家（担当：森原）

TEL 0799-55-2692 E-mail [t.moriha@niye.go.jp](mailto:t.moriha@niye.go.jp)

## ■ 施設概要

---

施設名： 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立淡路青少年交流の家

所在地： 兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39

開所： 昭和44年4月

事業内容： 青少年教育に係る教育事業の実施、研修支援事業等

代表者： 所長 西岡 敬三

H P : <https://awaji.niye.go.jp/>